

世の中の“不”に着目することが新規ビジネスの第一歩。新たな発想でこれまでになかったビジネスをゼロから創り出すだけでなく、既存事業でも視点を変えることで新たなビジネスモデルを生み出すこともできます。ここでは、各部門で取り組んでいる新規ビジネスの動きを見てみましょう。

Case 1 ゼロから新しい領域でビジネスを生み出す!

産業機器事業部・次亜塩素酸水溶液脱臭システム

次亜塩素酸水溶液の脱臭力を活用し、悪臭を分解するシステムを開発。畜産業や食品リサイクル施設などで発生する高濃度臭気を除去するなど、さまざまな業界の脱臭、除菌に関する衛生・環境問題の解決に役立てていく。



産業機器事業部 新規ビジネス推進部の皆さん

直感を信じ、お客さまの声を拾い、エンジニア魂で切り開く!

産業機器事業部では、世界中にアンテナを広げて、お客さまが必要とする技術を探し、新しくビジネスを生み出す活動をしています。

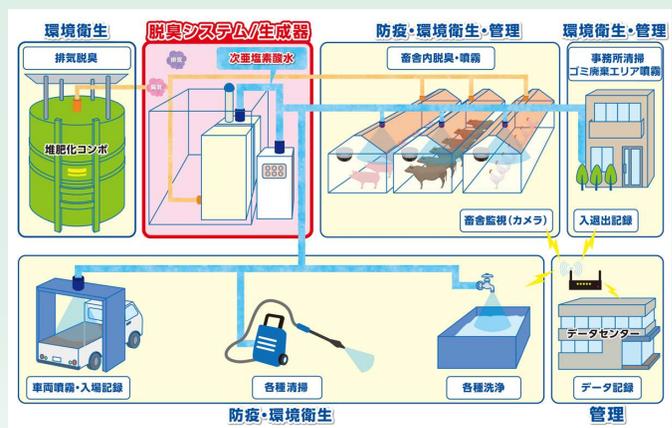
今から約5年前、目を付けたのは次亜塩素酸水溶液を使った社会貢献ビジネスでした。次亜塩素酸水溶液は、悪臭の分解力、阻害ウイルスの除菌力、安全性を備え、うまく活用すれば「必ず社会課題の解決ができる!」との直感がありました。その中でも悪臭問題は産業や畜産業の成長を妨げる要因にもなっており、この問題を解決できる装置を作ろうとスタートした事業です。構想から2年、効率的な悪臭成分の分解方法を模索し実証実験とデータ分析を重ね、2018年に事業化の承認が下りると、いよいよ製品化に向けたシステム開発に着手しました。

私たちは元々半導体製造装置のエン

ジニア時代にお客さまの声に耳を傾け、それをメーカーにフィードバックして装置をブラッシュアップする活動を行ってきました。それは異なる事業、業界でも同じで、畜産業や食品リサイクルに携わる方々の悪臭に対する考え方や要望をよく理解した上で、脱臭装置の改良に取り組みました。臭気の強烈さ、季節や時間による臭気のばらつき、業界によって発生する悪臭の成分が全く違うなど、乗り越えるべき壁は数多くありましたが、そこはエンジニア魂、困難が多いほど燃えましたね! 試行錯誤を重ね、2019年に脱臭システムの販売活動を開始

し、食品リサイクル施設での悪臭対策に採用いただくことができました。

この先は各企業が意識するSDGsの観点からも脱臭・衛生管理など多くの可能性があると思っています。これからも社会問題に目を向け、お客さまにどんな価値を生み出せるかを見極めていきたいです。



畜産業での次亜塩素酸水溶液 脱臭・除菌システムの活用例。さまざまな施設における環境衛生のニーズに応える